

令和 3年度 1月分 工事請負変更契約状況表

(単位：円)

(上水・工水・下水会計)

担当課 工事番号	契約年月日	工事名	契約の相手方	設計金額	請負代金額	請負代金額の増減	当月分の増減	工期	契約期間	備 考
下水道建設課 20000062	R3. 2. 12	北部第7汚水幹線工事その2	良誠工業株式会社 中山 勝裕	84,005,900	74,861,047			47	R3. 2. 13 R3. 3. 31	
	R3. 3. 19							210	R3. 2. 13 R3. 9. 10	
	R3. 9. 8							360	R3. 2. 13 R4. 2. 7	
	R4. 1. 6							410	18,660,953	R3. 2. 13 R4. 3. 29
管路整備課 21000006	R3. 6. 11	栗栖配水管布設工事	角谷産業株式会社 角谷 利佳	41,830,800	37,329,187			234	R3. 6. 12 R4. 1. 31	
	R4. 1. 20							234	△ 1,078,687	R3. 6. 12 R4. 1. 31
管路整備課 21000007	R3. 7. 5	秋葉町配水管布設替工事	株式会社平成建機 大島 たみ恵	149,102,800	129,800,000			238	R3. 7. 6 R4. 2. 28	
	R4. 1. 7							238	38,738,700	R3. 7. 6 R4. 2. 28
下水道建設課 21000023	R3. 8. 11	中央処理区支線工事その8	力土建有限公司 川口 真史	61,503,200	55,605,000			170	R3. 8. 12 R4. 1. 28	
	R4. 1. 17							232		R3. 8. 12 R4. 3. 31

年 度	令和2年度																								
工 事 番 号	第20000062号																								
工 事 名	北部第7汚水幹線工事その2																								
変更後の工事場所																									
変更後の工事概要	<table><tr><td>φ200mmVP管推進工</td><td>低耐荷力泥土圧方式</td><td>L=120.0m</td></tr><tr><td>φ400mmSP管推進工</td><td>鋼製さや管泥土圧方式</td><td>L=48.3m</td></tr><tr><td>φ400mmSP管推進工</td><td>鋼製さや管一重ケーシング</td><td>L=8.5m</td></tr><tr><td>φ200mmVP管推進工</td><td>低耐荷力圧入二工程</td><td>L=40.5m</td></tr><tr><td>φ200mmPRP管布設工</td><td></td><td>L=156.0m</td></tr><tr><td>マンホール工</td><td>(2号-3ヶ, 1号-6ヶ, 楯円-2ヶ, 0号8-ヶ, 塩ビ-3ヶ)</td><td>計22か所</td></tr><tr><td>取付管およびます工</td><td></td><td>13か所</td></tr><tr><td>付帯工</td><td></td><td>1式</td></tr></table>	φ200mmVP管推進工	低耐荷力泥土圧方式	L=120.0m	φ400mmSP管推進工	鋼製さや管泥土圧方式	L=48.3m	φ400mmSP管推進工	鋼製さや管一重ケーシング	L=8.5m	φ200mmVP管推進工	低耐荷力圧入二工程	L=40.5m	φ200mmPRP管布設工		L=156.0m	マンホール工	(2号-3ヶ, 1号-6ヶ, 楯円-2ヶ, 0号8-ヶ, 塩ビ-3ヶ)	計22か所	取付管およびます工		13か所	付帯工		1式
φ200mmVP管推進工	低耐荷力泥土圧方式	L=120.0m																							
φ400mmSP管推進工	鋼製さや管泥土圧方式	L=48.3m																							
φ400mmSP管推進工	鋼製さや管一重ケーシング	L=8.5m																							
φ200mmVP管推進工	低耐荷力圧入二工程	L=40.5m																							
φ200mmPRP管布設工		L=156.0m																							
マンホール工	(2号-3ヶ, 1号-6ヶ, 楯円-2ヶ, 0号8-ヶ, 塩ビ-3ヶ)	計22か所																							
取付管およびます工		13か所																							
付帯工		1式																							
変 更 の 理 由	<p>本工事のS1-2～S2-1の推進工において、当初は土質条件を砂質土と想定し低耐荷力泥土圧方式を選定していたが、試験掘り等を行ったところ礫を多く含んでおり、当初選定した工法では施工できないことが判明した。そのため、推進工法を鋼製さや管泥土圧方式に変更を行った。</p> <p>このことにより、建設工事請負契約書第18条の規定により設計図書の変更を行い、同第24条の規定により請負代金の増額変更を行いたい。また同契約書第19条及び第24条に基づき50日間の工期延長を行いたい。</p>																								

年 度	令和3年度															
工 事 番 号	第21000006号															
工 事 名	栗栖配水管布設工事															
変更後の工事場所																
変更後の工事概要	<table><tr><td>φ150mm</td><td>DIP GX形</td><td>L=408.7m</td></tr><tr><td>φ100mm</td><td>DIP GX形</td><td>L=68.3m</td></tr><tr><td>消火栓設置工</td><td>2箇所</td><td></td></tr><tr><td>給水管切替工</td><td>9箇所</td><td></td></tr><tr><td>既設管撤去工</td><td>1式</td><td></td></tr></table>	φ150mm	DIP GX形	L=408.7m	φ100mm	DIP GX形	L=68.3m	消火栓設置工	2箇所		給水管切替工	9箇所		既設管撤去工	1式	
φ150mm	DIP GX形	L=408.7m														
φ100mm	DIP GX形	L=68.3m														
消火栓設置工	2箇所															
給水管切替工	9箇所															
既設管撤去工	1式															
変更の理由	<p>本工事において管布設を行ったところ、当初、曲管または切管の使用による伏越し配管を予定していたが、現場状況により直線配管が可能になったため、当初設計よりも曲管、切管等の使用本数が減少し、それに伴い材料費、布設工費が減額となった。</p> <p>以上の理由により、建設工事請負契約書第18条第1項第4号に基づき精査した結果、同契約書第18条第4項第2号に該当すると認められるため、同条第5項及び第25条により、減額変更いたしたい。</p>															

年 度	令和 3 年度
工 事 番 号	第 21000007 号
工 事 名	秋葉町配水管布設替工事
変更後の工事場所	
変更後の工事概要	<p>φ400mm GX形 DIP L= 32.3m φ350mm GX形 DIP L= 7.3m φ300mm GX形 DIP L= 30.8m φ200mm GX形 DIP L=300.6m φ100mm GX形 DIP L= 4.7m 連絡工 1式 消火栓設置工 1箇所 給水管切替工 24箇所 既設管撤去工 1式</p>
変更の理由	<p>本工事において、次のとおり設計変更となります。</p> <p>・既設管撤去工において、既設仕切弁が開閉作業の出来る状態ではなく使用不能と判断したことにより、既設仕切弁の代わりとなるストッパーφ350mmを2基追加設置することによる既設管撤去工の増工、並びに既設管を撤去しながら本管を布設する予定でしたが、既設管が本管布設位置に埋設されておらず、撤去土工を追加計上することによる既設管撤去工・舗装工の増工。</p> <p>また、A路線及び不断水設置箇所において、地下水位が高く施工が困難であり、ウエルポイントを設置することによる地下水位低下工の増工。</p> <p>以上の理由により、工事請負契約書第18条第1項第4号に基づき精査した結果、同契約書第18条第4項第2号に該当すると認められるため、同条第5項及び第25条により増額変更いたしたい。</p>

年 度	令和3年度														
工 事 番 号	第21000023号														
工 事 名	中央処理区支線工事その8														
変更後の工事場所															
変更後の工事概要	<table><tr><td>φ500mmVU管布設工</td><td>L=64.0m</td></tr><tr><td>φ600mmVU管布設工</td><td>L=29.2m</td></tr><tr><td>φ700mmFRPM管布設工</td><td>L=83.0m</td></tr><tr><td>φ600mmVU管鋼製さや管推進工(φ800)</td><td>L= 3.1m</td></tr><tr><td>マンホール工(2号-6、1号-3)</td><td>9か所</td></tr><tr><td>取付管およびます工(汚水ます)</td><td>10か所</td></tr><tr><td>付帯工</td><td>1式</td></tr></table> 整備面積(合流) A=2.70ha	φ500mmVU管布設工	L=64.0m	φ600mmVU管布設工	L=29.2m	φ700mmFRPM管布設工	L=83.0m	φ600mmVU管鋼製さや管推進工(φ800)	L= 3.1m	マンホール工(2号-6、1号-3)	9か所	取付管およびます工(汚水ます)	10か所	付帯工	1式
φ500mmVU管布設工	L=64.0m														
φ600mmVU管布設工	L=29.2m														
φ700mmFRPM管布設工	L=83.0m														
φ600mmVU管鋼製さや管推進工(φ800)	L= 3.1m														
マンホール工(2号-6、1号-3)	9か所														
取付管およびます工(汚水ます)	10か所														
付帯工	1式														
変 更 の 理 由	<p>本工事において、地元自治会との通行止め等による調整に不測の日数を要したため、着工が大幅に遅れました。また、工事沿線施設との打ち合わせで、大型トレーラーによる搬入があることにより、平日作業が困難であるため、工期内の完成が困難な状況となりました。</p> <p>上記理由により、本工事の受注者 力土建有限会社取締役 川口真史より工期延長請求書の提出がありましたので、検討の結果、同契約書第22条の規定に基づくものであり、受注者の責に帰することが出来ない事由と判断出来るため、同契約書第24条に基づき、184日間(令和4年7月31日まで)の工期延長するものである。</p>														